

全国統一要求書を提出 北海道知事と札幌市長に

建交労北海道本部は、4月9日に北海道知事あての「2024年春闘全国統一要求書」を提出しました。また、4月15日に札幌市長あてに提出しました。それぞれに「雇用・失業対策の強化、燃料高騰対策」「高齢者の雇用・就労機会の拡大」「防災・生活・環境保全の優先、維持・補修を重視した公共事業の発注」「公契約条例の制定など適正な賃金・労働条件の確保」「建設労働者の賃金・労働条件の改善」「季節労働者対策の強化」「じん肺・アスベスト被害の防止と補償の拡充」「放課後児童クラブの国庫補助および各種制度の活用」を求めるとともに、北海道知事には「原発問題」「JR北海道への支援強化」について要求しています。札幌市長に対しては「敬老パス」について現行制度の存続と拡充などを要求しています。

交渉は7月下旬を予定していますが文書回答を受けて重点項目を決めて日程調整します。また、「JR北海道への支援強化」については別に日程を設定するよう申し入れています。

学童保育指導員の賃金が大幅に改善 国庫補助増額で基本給 20,000 円アップも

建交労全国学童保育部会は「常勤職員配置の改善」による国庫補助の増額を指導員の待遇改善につなげるとりくみを全国で強めています。札幌学童保育支部のある共同学童保育のクラブでは1人の指導員が基本給 20,000 円アップで 192,000 円に、もう1人は 5,000 円アップで 236,500 円になり、パート指導員も 4,250 円引き上げられ、超勤手当の引き上げも行われました。

このクラブでは父母会長に指導員連名の文書を手渡し、役員会でも俸給表改正を要望していました。

なお、札幌市青少年女性活動協会雇用の児童会館指導員の給与についても新年度から引き上げられます。

鉄道本部恒例の「カレイ釣り交流会」

好天に恵まれた4月13日、北海道鉄道本部の恒例行事「小樽祝津沖カレイ釣り交流会」がおこなわれ、8名の仲間たちが釣果を競いました。今回は身内の不幸が続く常連のうち3名が参加できませんでしたが、道本部の森国委員長と後志労災支部の石井さんが参加してくれました。例年通りこの時期のマガレイは型が揃っていましたが、鰯の大量発生の影響なのか食いが浅く、入れ食い状態にはなりませんでしたが。優勝は8.75kgを釣り上げた追分支部大内さん、準優勝には150g（真鰯1枚分）の僅差で竹田委員長、3位は小樽支部猪股さんでした。身長賞は丸々と太ったホッケを釣り上げた追分支部鷺沢さん、珍魚賞は高級カマボコの原料になるガンズ（ワラヅカ）を釣った森国さんでした。海は波一つないベタなぎで、太陽はサンサンと輝き、6月下旬の気温となって魚釣りには良すぎる天候でした。次回は5月4日に2回目の釣行が計画されており、15kg越の釣果を期待しています。